

平成25年度 標茶町病院事業会計決算審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

平成25年度標茶町病院事業会計決算

2 審査の期間

平成26年6月24日

3 審査の書類

(1) 決算報告書

(2) 財務諸表

ア 損益計算書

イ 剰余金計算書

ウ 欠損金処理計算書

エ 貸借対照表

(3) 附属書類

ア 事業報告書

イ 収益費用明細書

ウ 固定資産明細書

エ 企業債明細書

4 審査の方法

審査にあたっては、送付を受けた決算報告書、財務諸表及び事業報告書等の附属書類について、関係諸帳簿の照合とともに、関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績並びに財政状況を適正に表示されているか否か、予算執行の適否等についても内容説明を求め審査を実施した。

第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表等は、関係法令に準拠して作成されており、決算の諸計数はいずれも正確であるとともに、平成26年3月31日現在における財政状況及び経営成績を適正に表示されているものと認められた。

財務事務については、総体として適正に執行されたものと認められる。

審査結果の概要は以下のとおりである。

1 予算執行状況

本年度の予算執行状況は次表のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出について

収益的収支の状況

(単位:円・%)

区 分	予算額	決算額	執行率		予算額に比べ決算額 の増減及び不用額
			H25年度	H24年度	
		(595,118,168)	(103.7)	(101.7)	(21,127,168)
医業収益	573,991,000	592,204,291	103.2	101.3	18,213,291
入院収益	295,600,000	314,835,765	106.5	101.5	19,235,765
外来収益	216,600,000	217,134,507	100.2	99.7	534,507
その他医業収益	61,791,000	60,234,019	97.5	105.9	△ 1,556,981
医業外収益	622,991,000	555,215,978	89.1	90.8	△ 67,775,022
受取利息配当金	4,538,000	4,531,016	99.8	99.8	△ 6,984
他会計補助金	223,942,000	157,442,000	70.3	67.5	△ 66,500,000
他会計負担金	388,130,000	388,130,000	100.0	96.9	0
患者外給食収益	2,268,000	1,686,552	74.4	81.4	△ 581,448
その他医業外収益	4,113,000	3,426,410	83.3	100.1	△ 686,590
特別利益	0	0	0.0	100.3	△ 0
固定資産売却益	0	0	0.0	100.3	△ 0
収入合計	1,196,982,000	1,147,420,269	95.9	96.9	△ 49,561,731
医業費用	1,141,328,000	1,082,023,598	94.8	94.8	59,304,402
給与費	775,737,000	748,770,587	96.5	97.4	26,966,413
材料費	120,500,000	106,450,663	88.3	86.6	14,049,337
経費	166,492,000	149,125,985	89.6	87.1	17,366,015
減価償却費	73,555,000	73,554,418	100.0	100.0	582
資産減耗費	134,000	84,000	62.7	87.2	50,000
研究研修費	4,910,000	4,037,945	82.2	63.5	872,055
医業外費用	48,530,000	58,292,703	120.1	121.7	△ 9,762,703
支払利息及び企業債取扱諸費	44,336,000	44,335,364	100.0	100.0	636
患者外給食材料費	1,906,000	1,468,571	77.0	91.8	437,429
消費税	2,274,000	2,273,800	100.0	98.4	200
雑損失	14,000	10,214,968	72,964.1	0.0	△ 10,200,968
特別損失	6,624,000	6,608,079	99.8	0.0	15,921
過年度損益修正損	6,624,000	6,608,079	99.8	0.0	15,921
予備費	500,000	0	0.0	0.0	500,000
支出合計	1,196,982,000	1,146,924,380	95.8	95.8	50,057,620
(差引額)		(712,519)			
当年度純利益		495,889			

<注> ; 上段 () 内の数値並びに割合は消費税込みの金額

本年度の予算執行状況は、収入においては予算額 1,196,982,000 円に対し、決算額は 1,150,505,888 円、執行率 96.1%で、予算額に対し差引 46,476,112 円の減となっている。

支出については予算額 1,196,982,000 円に対し、決算額は 1,149,793,369 円で、執行率は 96.1%である。

不用額 47,188,631 円の内訳は、医業費用では給与費、材料費、経費等で 46,307,164 円、医業外費用が 365,546 円、特別損失が 15,921 円、予備費は 500,000 円となっている。

(2) 資本的収入及び支出

収入においては、予算額 20,000 円に対し決算額は 0 円である。

支出については、予算額 94,105,000 円に対し、決算額は 94,104,120 円で執行率は 100.0%である。支出額に対し収入額が 94,104,120 円不足しているが、この不足額は、過年度分損益勘定留保資金 94,104,120 円で補填されている。

支出の内容は、建設改良費 4,549,230 円、企業債償還金が 89,554,890 円となっている。

資本的収支の状況

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	執行率		予算に比べ決算額の増減及び不用額	
			H25 年度	H24 年度		
収 入	固定資産売却 代金 20,000	(0)	(0.0)	(95.4)	(△20,000)	
		0	0.0	95.4	△20,000	
資本的収入合計		(0)	(0.0)	(95.4)	(△20,000)	
		20,000	0.0	95.4	△20,000	
支 出	建設改良費	(4,549,230)	(100.0)	(100.0)	(770)	
		4,332,600	95.2	95.2	217,400	
	企業債償還金	(89,554,890)	(100.0)	(100.0)	(110)	
	89,555,000	89,554,890	100.0	100.0	110	
資本的支出合計		(94,104,120)	(100.0)	(100.0)	(880)	
		94,105,000	93,887,490	99.8	99.1	217,510
差引額		(△94,104,120)	—	—	—	
		△93,887,490				

<注>：上段（ ）内の数値は消費税込みの金額

(3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第17条に規定する、予算に係る主な事項の執行状況は次のとおりである。

ア 起債の利率及び償還の方法は、予算に定められた範囲で執行されている。

なお、本年度において企業債は発行されていない。

イ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費は、給与費 775,737,000 円、交際費 1,200,000 円であるが、いずれも予算の範囲内で執行されている。

ウ 他会計からの繰入金

一般会計から補助、負担をうける予算金額 612,072,000 円に対し、決算額は 545,572,000 円で、いずれも予算の範囲内で執行されている。

2 経営状況

(1) 経営成績

損益計算書に示されているとおり（記述並びに図表の数値は消費税抜きの金額で表示しています。）本年度の総収益は 1,147,420,269 円、総費用 1,146,924,380 円で純利益 495,889 円を計上している。

収益、費用を前年度と比較すると、総収益は 24,450,649 円の減、総費用も 12,474,522 円の減となり、純利益は前年度より 11,976,127 円の減となっている。医業収支でみると収益 592,204,291 円に対し、費用は 1,082,023,598 円で差引 489,819,307 円の医業収益不足となる。

当年度利益剰余金は、495,889 円が計上された。

なお、経営成績及び主な利益指標の推移は次のとおりである。

経営成績の推移

(単位：円・%)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度
総収益	1,147,420,269	1,171,870,918	1,158,814,878	1,122,844,899	1,085,279,247
うち医業収益	592,204,291	707,252,912	663,047,327	598,699,252	670,613,456
総費用	1,146,924,380	1,159,398,902	1,143,199,687	1,107,800,614	1,069,067,178
うち医業費用	1,082,023,598	1,097,659,822	1,077,051,251	1,012,561,801	998,781,581
当年度純利益	495,889	12,472,016	15,615,191	15,044,285	16,212,069
前年度繰越欠損金	—	12,147,387	27,762,578	42,806,863	59,018,932
当年度未処理欠損金	—	—	12,147,387	27,762,578	42,806,863
当年度利益剰余金	495,889	324,629	—	—	—
経常収支比率	100.0	101.1	101.4	101.4	101.5
医業収支比率	54.7	64.4	61.6	59.1	67.1

(数値は消費税抜き)

(2) 業務量（患者数）の状況

患者数は、入院患者が年間延べ 12,965 人で 1 日平均 35.5 人、前年度と比較すると 2,712 人減少し、外来患者数は年間 37,114 人で 1 日平均 151.5 人、前年度と比較すると 1,437 人の減少となっている。

病床利用状況は、利用率 59.2% で前年度と比較すると 12.4% 減少している。

患者一人当たりの診療収入は、入院患者が 24,284 円で前年度と比較すると 3,482 円の減少、外来患者は 5,851 円で前年度と比較すると 273 円の増加であった。

ア 診療日数

(単位：日)

区分	平成 25 年度 (A)	平成 24 年度 (B)	差引 (A) - (B)
入院	365	365	0
外来	245	244	1

イ 入院患者数

(単位：人)

区分	平成 25 年度 (A)		平成 24 年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均
内科	11,881	32.6	13,525	37.1	△1,644	△4.5
外科	828	2.3	1,767	4.8	△939	△2.5
産婦人科	256	0.7	385	1.1	△129	△0.4
合計	12,965	35.5	15,677	43.0	△2,712	△7.5

ウ 病床の利用状況

* 病床は全て一般病床

区分	平成 25 年度 (A)	平成 24 年度 (B)	比較 (A) - (B)
病床数 (床)	60	60	0
年間延病床数 (床)	21,900	21,900	0
年間患者数 (人)	12,965	15,677	△2,712
病床利用率 (%)	59.2	71.6	△12.4

エ 外来患者数

(単位：人)

区分	平成 25 年度 (A)		平成 24 年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均
内科	25,378	103.6	24,850	101.8	528	1.8
外科	8,906	36.4	10,231	41.9	△1,325	△5.5
産婦人科	1,524	6.2	1,699	7.0	△175	△0.8
小児科	1,306	5.3	1,771	7.3	△465	△2.0
合計	37,114	151.5	38,551	158.0	△1,437	△6.5

オ 患者一人 1 日当り診療収入

(単位：円)

区分	平成 25 年度 (A)	平成 24 年度 (B)	差引 (A) - (B)
入院	24,284	27,766	△3,482
外来	5,851	5,578	273

(3) 収益

本年度の総収益は、1,147,420,269円で、前年度1,171,870,918円に比較すると24,450,649円の減少となった。

内容は、医業収益が592,204,291円で前年度707,252,912円に比較し、115,048,621円の減となっている。主なものは、入院収益が120,456,119円の減であった。

医業外収益555,215,978円は、前年度460,901,336円に比較し、94,314,642円の増となっている。これは主に他会計補助金86,597,000円、他会計負担金8,731,000円の増による。

また、特別利益は、前年度3,716,670円に対し本年度は皆減となっている。

収益の内訳

(単位：円・%)

区 分	平成25年度(A)		平成24年度(B)		差引(A)-(B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年比
医業収益	592,204,291	51.6	707,252,912	60.4	△115,048,621	83.7
入院収益	314,835,765	27.4	435,291,884	37.1	△120,456,119	72.3
外来収益	217,134,507	18.9	215,022,566	18.4	2,111,941	101.0
その他医業収益	60,234,019	5.3	56,938,462	4.9	3,295,557	105.8
医業外収益	555,215,978	48.4	460,901,336	39.3	94,314,642	120.5
受取利息配当金	4,531,016	0.4	4,532,991	0.4	△1,975	100.0
他会計補助金	157,442,000	13.7	70,845,000	6.0	86,597,000	222.2
他会計負担金	388,130,000	33.8	379,399,000	32.4	8,731,000	102.3
患者外給食収益	1,686,552	0.2	2,152,724	0.2	△466,172	78.3
その他医業外収益	3,426,410	0.3	3,971,621	0.3	△545,211	86.3
特別利益	0	0.0	3,716,670	0.3	△3,716,670	皆減
固定資産売却益	0	0.0	3,716,670	0.3	△3,716,670	皆減
総収益	1,147,420,269	100.0	1,171,870,918	100.0	△24,450,649	97.9

(数値は消費税抜き)

(4) 費用

総費用は、1,146,924,380円で、前年度1,159,398,902円に比較して12,474,522円の減少となった。

内容は、医業費用が1,082,023,598円で前年度1,097,659,822円に比較し、15,636,224円の減となっている。これは主に給与費16,262,832円、材料費911,313円、減価償却費1,125,042円、資産減耗費1,542,730円等の減、経費3,603,062円の増によるものである。医業外費用は、58,292,703円で前年度61,739,080円に比較し、3,446,377円の減となっている。これは支払利息及び企業債取扱諸費3,033,588円、雑損失959,865円等の減によるものである。

また、今回、特別損失の過年度損益修正損として6,608,079円が支出された。

これは23年度分、24年度分の療養環境加算が、その算定基準である標準医師数を満たしていないため返還金が生じたことによる。

費用の内訳

(単位：円・%)

区 分	平成 25 年度 (A)		平成 24 年度 (B)		差 引 (A) - (B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年比
医業費用	1,082,023,598	94.3	1,097,659,822	94.7	△15,636,224	98.6
給与費	748,770,587	65.3	765,033,419	66.0	△16,262,832	97.9
材料費	106,450,663	9.3	107,361,976	9.3	△911,313	99.2
経 費	149,125,985	13.0	145,522,923	12.6	3,603,062	102.5
減価償却費	73,554,418	6.4	74,679,460	6.4	△1,125,042	98.5
資産減耗費	84,000	0.0	1,626,730	0.1	△1,542,730	5.2
研究研修費	4,037,945	0.3	3,435,314	0.3	602,631	117.5
医業外費用	58,292,703	5.1	61,739,080	5.3	△3,446,377	94.4
支払利息及び企業 債取扱諸費	44,335,364	3.9	47,368,952	4.1	△3,033,588	93.6
患者外給食材料費	1,468,571	0.1	1,818,095	0.1	△349,524	80.8
消費税	2,273,800	0.2	1,377,200	0.1	896,600	165.1
雑損失	10,214,968	0.9	11,174,833	1.0	△959,865	91.4
特別損失	6,608,079	0.6	—	—	6,608,079	皆増
過年度損益修正損	6,608,079	0.6	—	—	6,608,079	皆増
総費用	1,146,924,380	100.0	1,159,398,902	100.0	△12,474,522	98.9

(数値は消費税抜き)

3 財政状況

貸借対照表に示されている資産、負債、資本の内容は次のとおりである。(記述の数値は消費税抜きで表示しています。)

<資産>

本年度の資産総額は、2,498,424,969 円で、前年度 2,559,647,719 円に比較し、61,222,750 円減少した。

総資産のうち有形固定資産は、土地、建物、構築物、器械・備品、車両で 1,857,653,094 円、前年度 1,926,958,912 円と比較して 69,305,818 円の減少である。無形固定資産は電話加入権 388,032 円、投資は、一般会計への長期貸付金 400,000,000 円で、固定資産の合計額は 2,258,041,126 円となった。

流動資産の合計は 240,383,843 円で、前年度 232,300,775 円に比較し 8,083,068 円の増加である。内訳は、現金・預金は 32,275,149 円の増、未収金は 24,685,195 円の減、貯蔵品は 493,114 円の増となっている。

なお、当年度において患者医療費未収金のうち 1 件 13,290 円の不納欠損処分を行っている。

＜負債＞

負債合計 104,843,957 円は、前年度 77,007,706 円に比較し 27,836,251 円増加している。内訳は、流動負債が前年度に比較し 28,389,872 円増加となっている。

＜資本＞

資本金は、自己資本金が 900,712,372 円、借入資本金（企業債未償還残高）が 1,223,340,751 円で合計 2,124,053,123 円となっており、前年度 2,213,283,384 円に比較し 89,230,261 円の減である。

剰余金は、資本剰余金が 269,032,000 円で前年度と同額、利益剰余金が、495,889 円で前年度 324,629 円に比較し 171,260 円増となり、剰余金合計は 269,527,889 円となっている。

当年度末の資本合計は 2,393,581,012 円で前年度 2,482,640,013 円に比較し 89,059,001 円の減となった。

むすび

以上、予算執行、経営状況、財政状況にわたる計数の表示と所見を述べてまいりましたが、総括として次のとおり審査結果意見を申し上げます。

平成 25 年度病院事業は、町民の健康保持に必要な医療を提供するため、内科、外科、産婦人科、小児科、リハビリテーション科により、その経営に当たっている。

当年度の業務量は、入院延患者数 12,965 人（前年度 15,677 人）、外来延患者数 37,114 人（前年度 38,551 人）で、前年度と比較すると入院は 2,712 人の大幅な減少、外来でも 1,437 人の減少となった。

これらに従事する職員は、平成 26 年 3 月 31 日現在、91 人（内 29 人は嘱託、非常勤・臨時職員）で、前年度比較では産婦人科の分娩診療休止に伴う助産師 3 名が減員となっている。

経営成績は、総収益 1,147,420,269 円、総費用 1,146,924,380 円で差引純利益 495,889 円が計上された。

医業収支では、医業収益 592,204,291 円、医業費用 1,082,023,598 円で、差引 489,819,307 円費用が上回っているが、一般会計繰入金（補助金と負担金）545,572,000 円（前年度 450,244,000 円）を主なものとする医業外収益によって、当年度純利益 495,889 円が計上され、繰越利益剰余金として処分された。

しかし、一般会計繰入金が前年度より 95,328,000 円増となっており、一層の経営努力が必要である。

医業収益は前年度比 83.7%であり、これは入院、外来ともに患者数が大きく減少したこと。また、北海道厚生局の施設基準等適時調査により、入院基本料算定基準の夜勤従事時間数超過により入院基本料がランクダウンしたことや、療養環境加算基準である医師数が標準数を満たしていないことから生じた診療報酬等の返還金などが大きな要因であります。

今後、このような返還金が生じないように充分注意をして業務にあたられたい。
医業費用は前年度比 98.6%で人件費等の減少が主であります

医業収支は、入院患者数、入院基本料等の変動がより大きく影響を及ぼすことから、医師、看護師、病院職員が一丸となって医業収益の確保、更には、病院経営の安定に努力されることを期待する。

資本的収支については、支出の器械、備品購入、企業債償還金等 94,104,120 円は、過年度分損益勘定留保金で補填されている。

自治体病院を取り巻く医療環境は、医師確保、診療報酬改定等で厳しい状況にありますが、自治体病院は、「地域住民の命、健康、暮らしを守る」地域の財産であることから病院関係者をはじめ、行政や住民が一体となって病院づくりに取り組み、住民の期待に応えることができるよう一層の経営努力を望む。